

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成20年6月号

編 集 大井 利夫
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3
社団法人 日本病院会 通信教育部
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.hospital.or.jp>
受 付 時 間 9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月1日
定 価 1部 150円 1カ年1,600円 (送料共)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 社団法人 日本病院会 通信教育部

啐 啄 同 時

冷牟田 浩司

国立病院機構九州医療センター 副院長
福岡会場 基礎課程 (臨床医学各論V) 講師

先日、恒例の診療情報管理士を目指す皆さんへの系統講義をさせていただきました。

会場となった九州医療センターの講堂は200名を超す受講者の皆さんで超満員で、前方の演壇へ上がるのに小生のメタボなお腹を小さくせねば机間を通過せず、大変窮屈な思いであった。そのくらい、会場は盛会で診療情報管理士の資格取得に向かう受講者の皆さんの熱気に満ち溢れていた。

いざ講義を始めても、まず居眠りする人がいない。小生の拙い講義内容を熱心にメモをつづる姿が広がる。それだけの強い意志の受講者の熱意に圧倒されっぱなしである。

なんとも心地よい緊張感を味わいながらの3時間であったが、講義を続けながら演壇の上で、ふと啐啄同時という四字熟語が頭をよぎった。

広辞苑を紐解くと「啐啄」の啐とは卵から雛鳥が誕生する際、殻の内側からくちばしで殻をつつく音、啄は親鳥がその音を頼りにここぞとばかりに殻をかみ砕くことと記載されている。その注釈には①(仏教言語)師家と弟子の動きが合致すること、②逃がしたらまたとない得難い絶好の機、と記されている。

受講者の方々と私は初対面であり、皆さんがただか3時間足らずの系統講義の講師と①の師家と弟子の関係ではあり得ず、ここは②の得難い絶好の好機の意味が該当する。

診療情報管理士の受験を控えている皆さんは、まさにこの啐啄同時の雛鳥の気持ちに通じる思いで講義を受けておられるに違いないと考えながら講義させていただきました。講義する身になればその熱意と気迫を感じないわけにいかないのです、自然と声に力が入る。いつもながら終了時には心地よい疲労が待ち受けているのである。

この講義における主催側の日本病院会の意気込みもまた然りと感じることもあった。

以前の講義の際にも、印象深い出来事があった。講義終了後にあまり活発な質問がなかった時に、企画側の日本病院会の事務の方が、「貴重な時間なのだからどんどん質問しないとだめですよ!」と受講者の皆さんを真剣に叱咤激励されるのである。ふつうはあまり見受けられない光景だが、主催者側も受講者側もあまり違和感はなかったように見受けられた。

昨今の医療情勢は展開目まぐるしく、診療情報の精緻さが医療の質を問う物差しの一つとなってきた。診療情報管理士の果たす役割はますます重要になってくると思うが、その職務を目指す方々やそれを支援する周辺の熱き思いに大いにエールを送りつつ、実に快適に勝手な講義をさせていただいている。